



NanoLSI のみ使用

申請番号:

申請受付年月日: 2018/MM/DD

2018 年度 Bio-SPM 技術共同研究課題 申請書 兼 共同研究員承諾書

申請者は、以下の書類を準備して、提出先にご提出ください。

- ・ 様式 1
- ・ 申請責任者の研究経歴書

【提出先】

金沢大学 WPI-NanoLSI Bio-SPM 技術共同研究事業担当 [国岡](#)

〒920-1192 石川県金沢市角間町 Tel: [076-234-4574](tel:076-234-4574)

E-mail: bio-spmcr@staff.kanazawa-u.ac.jp

(1) 実験課題名

英語			
和訳			
Keywords	※英語で 5 つ程度挙げてください。		
実験課題の 新規・継続の別	☐ 新規 ☐ 継続	継続の場合、下欄も記入してください。 （新規の場合は記入不要です。）	
前回の実験課題名			
前回の研究期間	20 YY/ MM ~ 20 YY/ MM		
これまでの 共同研究に おける成果			

(2) 申請者（実験責任者）

氏 名 (ふりがな)			
生年月日	19YY 年 MM 月 DD 日 (歳)	性別	男 ・ 女
所属機関	機関名		
	部局名		
	職名		
	住所	〒	
	電話番号		
	E-mail		
利用を希望する Bio-SPM 技術	☐ 超解像 AFM (FM-AFM 及び、3D-AFM)	☐ 高速 AFM	☐ SICM
旅費及び、宿泊費を自己負担できますか？	☐ できる ☐ できない		

(3) 申請に関わる質問

NanoLSI の Bio-SPM 技術をどうして利用したいと思いましたか？最大 3 行でお答えください。	
NanoLSI の本事業についてどこで知りましたか？ ☐ 学術論文 ☐ 学会発表 ☐ 知人 ☐ HP ☐ その他(記入してください)	
NanoLSI のスタッフメンバーと本申請課題の適合性について議論しましたか？	
☐ はい ☐ いいえ	※はいの場合、スタッフ名を記入してください。

(4) 研究組織（共同実験者）

この課題に参加する全ての方（学生、博士研究員なども含む）をリストしてください。

1	共同実験者氏名 (ふりがな)		機関名・部局名	
	職名		住所	〒
	年齢	歳		
	性別	男・女	E-mail:	
2	共同実験者氏名 (ふりがな)		機関名・部局名	
	職名		住所	〒
	年齢	歳		
	性別	男・女	E-mail:	
3	共同実験者氏名 (ふりがな)		機関名・部局名	
	職名		住所	〒
	年齢	歳		
	性別	男・女	E-mail:	
4	共同実験者氏名 (ふりがな)		機関名・部局名	
	職名		住所	〒
	年齢	歳		
	性別	男・女	E-mail:	
5	共同実験者氏名 (ふりがな)		機関名・部局名	
	職名		住所	〒
	年齢	歳		
	性別	男・女	E-mail:	

* 行が不足する場合は追加の上、記入してください。

* NanoLSI のスタッフの名前を記入する必要はありません。

* 年齢は、提出日の年齢をご記入ください。

(5) 来所予定

氏 名	来所形態・回数（※予定で構いません）	来所日数
（記入例）名野 太郎	日帰り×3 回、1 泊 2 日×2 回、3 泊 4 日×1 回	11 日
		日
		日
		日
		日
		日
		日
合計（=来所延べ日数）		11 日

* 行が不足する場合は追加の上、記入してください。

* 来所日数欄には、合計来所日数を記入してください（来所延べ日数は **100 日以内**とします）。

* 学部学生を研究協力者に含めることはできますが、旅費は支給しません。

* 記入例に従ってご記入下さい。

(6) 学生の取り扱いについての誓約書

貴研究所において研究協力者の学生(大学院生および学部学生)に不測の事態が生じた場合、誠意を持って対処いたします。			
指導教員等 所属部局名・職名			
署 名	⑩		
氏 名		年月日	2018/MM/DD

* 募集要項「9. その他④」をご参照ください。

* 研究組織に学生を含まない場合は、本欄への記入は不要です。

(7) 申請者(実験責任者)の誓約書

以下の項目について、同意される場合はチェックしてください。

☐	本申請書に記載されている事項は申請者が知る限り正確です。		
☐	実験は安全に務めて行い、危険な物品、薬品、生物試料は持ち込みません。		
☐	Bio-SPM 関連の機器やそれに付随する物品を大切に扱います。		
☐	本共同研究に基づいて得られた結果は秘匿せず、公表する予定です。		
☐	本共同研究による成果に基づいて学術論文として出版した場合は、Bio-SPM 技術共同研究担当者にその旨を報告し、別刷りを pdf 形式で提出します。		
署 名	⑩		
氏 名		年月日	2018/MM/DD

(8) 申請課題の詳細

以下の項目について、参考文献を引用しながら、本文と図表を用いて、最大 2 ページで記載してください。

(i) 研究の意義と目的、学術的な特色

(ii) 期待される成果および本設備利用の必要性

(iii) 研究計画・方法

試料の準備状況、予備観察データがあればその概要、予想される測定日数なども記載してください。

(iv) Bio-SPM 技術に関するこれまでの経験と実績(使用したことがある機種等)

【参考文献】